



関中央ロータリークラブ

2023-2024 WEEKLY REPORT

例会日:毎週木曜日 18時30分 例会場:関観光ホテル 住所:岐阜県関市池尻 91-2

事務局:岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之



世界に希望を生み出そう

2023~2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、奉仕から広がる友情の輪、
そして共に成長し合おう」

第2130回
2024年2月8日(木)

本日のプログラム テーマ「関商工高校・景文高校 交流事業の報告」

担当：国際奉仕委員会

前例会の記録

第2129回 2024年1月26日(金)

「オープン例会」

卓話 前関市長 尾関 健治 様

テーマ「51歳・ほぼ無職・世界一周一人旅」

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 森 敬 会長

皆様こんばんは。本日のお客様をご紹介致します。前関市長 尾関 健治 様。尾関 健治 様におかれましては昨年まで長きにわたり関市長を務められ、われわれ市民の為に大変汗をかいて頂きました。ありがとうございました。そして長い間、本当にお疲れ様でした。本日はテーマ「51歳・ほぼ無職・世界一周一人旅」との事で卓話を頂戴致します。どうぞ宜しくお願い致します。さて本日はビジター出席者が多数参加いただいております。順不同にてご紹介します。関市議会議員 浅野 典之 様、関市議会議員 栗山 守 様、関市議会議員 岩出 和也 様、鈴木設計 鈴木 数広 様、(有)フジケン土木代表取締役 藤村 勇太 様、森基礎工業(株) 代表取締役 森 大地 様、(有)志津刃物製作所 堀部 喜学



様、ハーヴェン 古川 潤次 様、(有)山口造園土木 専務取締役 山口 雅稔 様、(株)ファンシーランド 常務取締役 山田 信之 様、多田化成工業(有) 取締役 多田 幸泰 様、以上が本日のお客様となります。宜しくお願致します。さて、本日は尾関 健治 様のお話を長く時間を取りたいと思いますので、会長挨拶は短めにしたいと思います。私と尾関前市長のご縁についてだけお話しをします。実は息子同士が同級生で小学校・中学校を同じ学校に通い親しい仲でありました。その息子たちも既に23歳となっておりますが、我が子は4人兄弟の末っ子三男で、当時はとても可愛かったです。中学生の時でした。授業の一貫で職場体験というものがあり、中学生の生徒が各事業所に行き、仕事を体験し社会勉強をするものがありました。我が子と尾関前市長の息子さんが同じ職場で体験をすることになり、私は息子の事が気になって仕方がなく、親バカだとは思いましたがその職場を見に行くことにしました。こっそり職場を覗くと二人が一生懸命に働いておりました。しばらくすると、尾関前市長も見に来られました。市長も公務を離れば普通のお父さんであり、大変親近感が持てたのを覚えております。本日は市長退任後プライベートで世界を回ら

れたとの事で、きっと素晴らしい話が聞けるのではないかと思います。楽しみにしております。本日参加頂いた皆様には素晴らしい時間となります様に祈念致しまして会長挨拶とします。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

*卓話

前関市長 尾関 健治 様

51歳・ほぼ無職・

世界一周一人旅

今日の卓話で最も大切なこと

それは、私の話に期待をしない。先程のご紹介でも楽しいお話をとということで、だいぶハードルを上げてもらっていることもあります。まあ普通に一市民が世界一周を回ってきただけの話です。皆さん、何かを得て帰ろうとする考えは、この瞬間に捨てていただきたい。



なぜ世界一周の一人旅に出たのか



1. 世界一周を試してみたい
2. 市長としての仕事のやり方を忘れる
3. 新しいチャレンジをする

世界一周とは？今回は船ではなく飛行機で動きました。ご存知の方もおみえかと思いますが、いろいろなアライアンスがあります。例えば、全日空が入っているのはスターアライアンス、JAL 日航が入っているのはワンワールド、デルタ航空とかが中心になっているスカイチームというアライアンスがあります。それぞれのアライアンスが世界一周航空券を持っています。今回はそれを使って世界1周をしたということです。世界一周の定義は、なんぞやということですが、私が使ったのはスターアライアンスです。その定義は太平洋と太平洋を渡ること、こ

れが世界一周の定義です。従って日本を離れて、まずフランスに行き、そこからニューヨークに飛び日本に戻ってきたら、世界一周です。ですから何ヶ月行かなければいけないとかそういうわけではありません。スターアライアンスでは10日間かけて戻ってくるというルールがあります。よって1週間で戻ってくる時は世界一周航空券が買えません。飛行機に乗る距離が長ければ値段が変わってきます。皆様をご存知の通り飛行機はエコノミー、プレミアムエコノミー、ビジネス、ファーストクラスとあります。これによっても料金が違います。今回私が選んだのは距離としては1番短い29,000マイル。贅沢ですがビジネスクラスを選びました。今、世界一周の航空券は簡単に買えます。専門のホームページで、ネットで全て支払いができます。今回12回、飛行機のビジネスクラスに乗りました。9月21日が市長として最後の任期でしたので、2週間で日本を10月3日に離れたということになります。期間としてはぴったり2ヶ月です。訪問した国は22カ国です。3カ国は過去に訪問したことがあります。残りの19カ国は初めて訪問した国となります。世界一周するにあたって今まで行ったことのない国に行くことが私の方針でした。言い忘れましたが、世界一周の航空券ビジネスクラス29,000マイルで約90万円です。決して安くはないですが、12回国際線のビジネスクラスに乗って約90万円、考えようによっては比較的好得であるという言い方もできると思います。ちなみにエコノミーは550,000円、その差額は350,000円です。プレミアムエコノミーは75万円、ファーストクラスは110万円になります。総費用を上げると225万円です。これぐらいで世界一周が2カ月間行けるということです。世界一周、市長を辞めたら・・・と思っていました。また、自分を洗い直すためにも良い機会だと思いました。また、市長を辞めた後も新しいチャレンジをしているということを皆様にお見せしたいということも



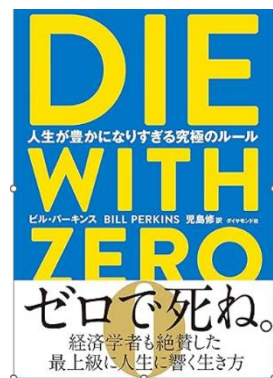
理由の1つでした。中南米、ヨーロッパ、あとはそれ以外ということでざっくりと印象めいたこととお話したいと思います。中南米はメキシコ、パナマ、コロンビア、アルゼンチン、ウルグアイ、ブラジルと回りました。世界一周をする前に1番びびっていたのが中南米でしたが、危険を感じる事は1度もなかったです。通常に観光する分には問題ない。意外と安全でありました。バスなどの公共交通もしっかりしていて、移動も問題なく安く、車内、支払いなども安全でした。ただその代わり、街角には銃などを持った警察が非常に多く立っています。国としても治安確保にかなり力を入れていると感じました。あと言葉ですが、南アフリカ、中南米、ブラジルを除いて、全部スペイン語です。いうまでもなく、それはスペインの植民地だったからです。ブラジルはなぜポルトガル語かという、それはポルトガルの植民地だったからです。事前に調べて中南米では英語が通じにくいということはいろいろな本に書いてありました。Google 翻訳で何とかコミュニケーションを取りましたが言葉の問題が中南米は大変だと思えます。次にヨーロッパに渡りました。ドイツ、ルクセンブルグ、ベルギー、オランダ、ポーランド、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、スロバキア、ギリシャ、ブルガリアと回りました。イギリス、ドイツ、フランスなどの西ヨーロッパはもちろんですが、中欧、東欧などを含めてレストランなど、公共交通機関などの注文の仕方などを含めて、ヨーロッパどの国に行っても困る事は無く、旅行をして普通に過ごす分には全く違和感はありません。ただ裏返すとあまり刺激というものはありません。きれいな建物もありますし、私は絵画を見るのが好きなので、絵画もたくさん見ましたがきれいなんだけど、おとなしすぎて綺麗すぎて、途中からつまらなく感じるようなところ



ろもありました。皆さんのイメージからすると、ヨーロッパというのは、鉄道で安く回るというイメージだと思いますが、国際線のバスがたくさん走っていて、私が使ったのはフィリックスバスと言うバス会社、それが全てスマホのアプリで予約で座席指定ができ非常に安く、場合によっては1000円位で国際線のバスに乗れる。ちなみに私は13回位このバスを利用しました。もしヨーロッパに行かれたらバスを使うと安く便利に行けます。もし次に行くなら、どこかの都市だけチケットを買って、後はバスで移動したいと思うくらい便利です。ただ中南米は治安が良く危険を全然感じなかったと申し上げましたが、実際にスリにあったのはギリシャ。22カ国の中では荒んでいる…ちょっと危険な感じがしました。これは自分でも意外だったわけですけども、地下鉄に乗ろうとしていて、チケットを購入するのに戸惑っていて、その様子を見て観光客とわかると、声をかけて二人組の男が歩いてきて、この電車に乗れと案内する。入り口近くに入り、上に貼ってある路線図などを指さし説明。私を上に向かせて、その間に財布を取るというやり方なのですが、私は蓋がついているバックでしたので、簡単に手が入らずスリの被害に遭わず良かったです。ギリシャは経済状況がやはり良くないという感じがしました。アフリカ、中東、アジアとそれ以外とまとめてしまいましたが、エジプト、トルコ、アラブ首長国連邦、オマーン、インドです。モスクなどの宗教施設は無料で観光客が入れたのですが、25ユーロ約4,000円を何日か前から取り始めたそうです。私が行った時はタダでよかったです。アフリカ、中東アジアは刺激がありすぎるくらい強烈なところですが、宗教や言葉の問題も含め、異国情緒溢れる国々です。イスラム教は、基本的に外ではアルコールが飲めません。アルコールを買うのはハードルが高く、食べ物にもいろいろな制約があり、やはり日本とは違うと感じました。ファクトフルネスという本を読み、データを見ると世界はだんだんと良くなっていて、悪いと感じるのは私たちの思い込みなどにより世の中の情勢を理解してしまう…そのような内容の本です。2ヶ月間の世界一周旅行を終え、イスラエルの問題、ウクライナの問題がある中、全体的に世界が良くなっているというのが私の結論です。初めて海外を旅行したのは大学1年の時です。インドへは、19歳の時以来、32年経っての訪問でした。1度目

の時は物乞いがいたりして強烈な印象が残っています。今回、訪問して物乞いの数としては絶対的に減っていました。小さな限られた経験なのですが、30年経って間違いなく良くなっていると感じました。ポーランドにあるアウシュビッツの強制収容所。ここは一生のうち1回は行ってみたいと思っていました。実際に訪れてみて、展示物や話を聞くと超絶な思いを持ちますし、人間とはなんぞやという思いを持つ場所でした。適切な指導者や法律を含めた社会的な枠組みが大事だと思いました。イスラエルのエルサレム行きの飛行機チケットを取っていたのですが、ハマスによる攻撃が起ってしまい、泣く泣く行き先をアラブ首長国連邦 UAE に変更しました。UAE は建築ラッシュで投資も盛んに行われているようです。世界全体として経済は大きく動いていると感じました。南米イグアスの滝にも行きました。国境に近くアルゼンチン側からも見え、ブラジルからも見られるのがイグアスの滝です。今は非常に水量も多く、悪魔の喉笛と言う観光の名所が今もずっと閉まっていて、地球環境の変化の一環だと思いますが、危険でいけない状況です。自然環境の変化を感じます。トラブルが起きても対応するために行ったと申しましたが、2ヶ月間の間いろいろありました。1つ目はベルギーでの体調不良。10月20日からの3日間、熱が下がってほしいと思いながら震えて寝ておりました。熱が出た時は弱気になり、世界一周を続けるのは困難だと思いました。幸いに熱が下がり、何とか続けられる気持ちになりました。2つ目は、両替詐欺に遭いました。ハンガリーの地下鉄の駅で切符を買おうとした時に、券売機で大きいお金が入らず、細かいお金にくずしたいと思っていました。後ろに並んでいた人をお願いをして親切に両替をしてくれると思ったのですが、他国の通貨に変換され騙されました。ぼられると言う話で、インドは強烈だと申しましたが、インドの旅行会社にいようにやられてボラれてしまいました。鉄道のチケットを買うときに旅行会社でパソコンから選んでもらうのですが、どれを選んでも全て売り切れでした。そのため、バス会社を紹介してもらったのですが、バスも4日間全部埋まっていると言う回答でした。結局、運転手付きの車を用意してくれるということになりました。しかし、よくよく考えてみると、旅行会社とバス会社が満席になるように設定し、全部セットでグルになって

いたようです。最後に1つ、大切だと思っていること。もちろん物って大事ですが、人生において大切だと思っているのは、やはり体験、経験が自分の財産になるということです。本を読めば分かる事もありますが、実際に足を運んで体験することほど、人生において重要なものはないというのが私の考えです。いろいろな投資がありますが、1番大切なのは、自分自身にお金をかける投資だと思います。これが世界一周につながっているということです。今は、ビザや何もかもインターネットで全て完結できます。バスや鉄道もほとんどネットで買えます。世界はどんどん近くなっていますし、これからももっと近くなっていくと思います。言葉は海外旅行での大きな問題ですが、スマホやタブレットの性能がどんどん良くなっていますので、意思疎通はスマホやタブレットを持っていけば十分にできる時代になっています。総費用225万を安く済ませようと試算すると150万ほどあれば全く私と同じ世界一周ができると思います。『ダイフリーズゼロ』という本があります。一刻も早く経験に金を使う、収入の何割を貯金するのを止める、子供には死ぬ前に与える、45~60歳には資産を取り崩し始める、そしてゼロで死ぬ。お金を家族のため、子孫のために残すのは大事なことです。この本を読んでいいなと思ったことは、私はずっと自分の経験や体験に投資をすべきであるし、それが自分自身の生きていく上での財産だと言う考え方ですので、この本に書かれている事はなるほどと思いました。あえて最後にこれをご紹介申し上げたのは、ロータリークラブの皆様は、世間一般に比べるとお金に余裕を持ってみえる方が多いと思います。ただそれをこれからずっと守って残すということだけではなく、ぜひ自分のためにお金を使っていくということを1つの観点として入れると、人生が楽しくなるのではないかと。あえてここで入れさせていただきました。本当に最後の最後に、ぜひ機会があれば、皆様も世界一周に行っていただけたらと思います。最後の最後、私個人的なことですが、2月1日から松下政経塾の職員になります。4月1日から塾頭と言うのですが、現役の塾生の研修を担当する役割を担うことになります。それか



ら塾生の募集の方にも関わることになりますので、ぜひ皆様のお子様、お孫さん、友人のご子息、お孫さんを松下政経塾で学びたい方がみえましたら、ぜひご紹介をいただけたらと思います。



*出席委員会

会員数 28 名、本日の出席 16 名です。

*ニコボックス委員会

・会長、副会長、幹事

本日は前関市長 尾関 健治 様の卓話で、会員外の方も参加できるオープン例会としました。ビジター様 9 名ご出席、誠にありがとうございます。我クラブの例会を楽しんで下さい。

・前田 仁夫 会員

関中央RC入会以来四十数年間、体調不良で例会を休んだことは前例会が初めてです。健康管理を もつと、もつとと、反省しています。

17 名のご投函ありがとうございます。

<次例会の案内>

第 2131 回 2024 年 2 月 22 日 (木)

卓 話 関商工会議所 青年部